

遠野市第三セクター等の状況について

第1回遠野市進歩まちづくり  
検証委員会提出資料  
平成22年 2月10日  
遠野市経営企画室

	No.	法人等名	設立年月日	設立目的	資本金等	市出資金等	比率	平成20年度決算状況	平成20年度公費支出額	適 用	
第 三 セ ク タ ー	1	遠野市土地開発公社	H17.10.1	公有地の取得・造成その他管理を行なうことを目的に設立した。	5,000千円	5,000千円	100.0%	当期純利益 125千円 当期未処分剰余金 27,894千円	—	【廃止理由】 1 近年地価が低下する社会環境下、公共用地先行取得の利点が希薄化 2 事業目的を達成したこと 3 公有地先行取得は、遠野市土地開発基金を活用	
	2	財団法人 遠野市水道業務管理公社	S53.4.28	水道施設の普及、啓蒙を図るとともに水道に関する調査研究を進め、併せて水道業務の一部を管理し、水道事業の発展と市民福祉の増進に寄与することを目的に設立した。	12,500千円	12,500千円	100.0%	当期純利益 365千円 当期未処分剰余金 2,801千円	【委託料35,678千円】 業務委託 料金収納、検針 施設管理、開閉閉栓等	【廃止理由】 1 所期の目的をおおむね達成 2 効率的な運営、新たなサービスの拡大に限界	
	3	有限会社 武蔵野交流センター	H13.8.1	武蔵野市の友好都市関係にある自治体連携によるアンテナショップ「麦わら帽子」の運営を目的に設立した。(現在9自治体(社)遠野ふるさと公社が中心となり、市内の生鮮野菜や菓子等を提供。 ※アンテナショップ=商品に対する消費者の反応を探るアンテナの働きをもっている。	5,200千円	500千円	9.6%	当期純利益 179千円 当期未処分剰余金 △227千円	—	【理 由】 事業目的が公益性を十分発揮しており、事業成果も高い なお、指針に基づき評価の対象外であること (出資率25%に満たない9.6%であること)  参考1 物品販売売上高 本市分/会社全体分 平成20年度分15,431千円/132,110千円(12%) 平成19年度分12,360千円/101,697千円(12%)  参考2 友好都市9団体 遠野市・酒田市・長岡市・安曇野市・南房総市・南砺市・大崎上島町・武蔵野市・岩美町	
	4	株式会社 遠野	H10.5.11	交流人口の拡大を目指し、遠野ふれあい交流センター(通称 あえりあ遠野)の管理運営と市学校給食センターの調理業務を主な目的に設立した。	200,000千円	100,000千円	50.0%	当期純利益 △5,167千円 当期未処分剰余金 6,084千円	【委託料100,360千円】 あえりあ遠野 44,560千円 給食センター調理 55,800千円	指定管理者施設(利用料金制度適用) 遠野ふれあい交流センター(あえりあ遠野)	
	5	株式会社 遠野テレビ	H12.8.1	平成13年4月の遠野テレビ開局にあたり、放送、通信サービスを管理運営することを目的に設立した。	93,000千円	50,000千円	53.8%	当期純利益 9,568千円 当期未処分剰余金 34,951千円	【委託料197,060千円】 運営業務 165,780千円 伝送路移設 31,280千円	市職員派遣 1名(部長級)	
	6	株式会社 リンデンバウム遠野	H2.7.23	森林資源の生産加工都市の創造を目指して、素材生産から加工販売(遠野住宅、外溝部材の設計・設計施工など)までの地域連携システム化を目指す第三セクターとして設立した。	47,000千円	10,000千円	21.3%	当期純利益 △15,043千円 当期未処分剰余金△15,043千円	—	市への配当状況 平成6～12年度、14～15年度、17年度 累計 5,000千円	
	7	社団法人 遠野ふるさと公社	S63.10.13	物産振興、特産品開発を主な目的に、昭和59年に任意団体として設立した。昭和63年度には社団法人として改組設立した。  【経営部門】 伝承園、遠野ふるさと村、風の丘、たかむろ水光園、駅前物産センター、イオン盛岡南店(結の市)、販売促進部門	71,000千円	60,500千円	85.2%	当期純利益 △33,361千円 当期未処分剰余金△14,147千円	【補助金1,142千円】 旬を楽しむ祭事支援  【委託料13,251千円】 施設管理・業務 遠野ふるさと村 3,343千円 物産センター 1,428千円 物産フェアー 3,620千円 トイレ風の丘 2,620千円 トイレ伝承園 320千円 夜間管理委託 1,920千円	1 指定管理者施設(利用料金制度適用) (1) 遠野ふるさと村 (2) 伝承園 (3) たかむろ水光園 (4) 風の丘(情報交流センター) (5) 物産センター  2 市職員派遣 1名(係長級)	
	8	社団法人 遠野市畜産振興公社	S62.8.7	経営体の異なっていた牧野(牧場)について、経営と放牧管理を一元化することを目的に設立した。 平成5年には、馬の里構想に基づき、競走馬育成経営、乗用馬育成調教経営も行なっている。	190,000千円	130,000千円	68.4%	当期純利益 10,931千円 放牧部 △3,253千円 馬の里 14,184千円 当期未処分剰余金 △89,794千円 放牧部 △3,253千円 馬の里 △86,541千円	【補助金80,147千円】 1 放牧 3,796千円 利用料金支援 2 馬の里 76,351千円 競走馬 48,640千円 乗用馬 27,711千円  【委託料 42,264千円】 1 放牧 牧野管理 41,820千円 ヨーネ病検査 444千円	1 指定管理者施設 (1) 石羽牧野 (2) 高清水牧野 (3) 寺沢牧野 (4) 荒川牧野 (5) 大出牧野  2 市職員派遣 2名(課長、主事級)	
	9	遠野アドホック株式会社	H4.6.29	平成4年の世界民話博覧会の開催を契機に、これまで「遠野音話村」の施設を管理していた有限会社来内観光を発展的に解消し、まちづくりをテーマとして設立した。	35,000千円	10,000千円	28.6%	当期純利益 1,260千円 当期未処分剰余金 5,419千円	【委託料 15,014千円】 施設管理・業務 とおの音話村 6,764千円 城下町資料館 2,489千円 博物館受付 2,175千円 蔵の道ギャラリー 3,586千円		
	10	社団法人 宮守わさびバイオテクノロジー公社	H2.6.19	宮守地区の特産品であるわさびを生産振興するため、優良わさびの研究開発、優良わさび苗の生産供給を目的に設立した。	5,000千円	3,300千円	66.0%	当期純利益 1,956千円 当期未処分剰余金 2,695千円	【補助金9,432千円】 運営費(人件費含)支援		
	公 益 法 人 等	11	財団法人 遠野市教育文化振興財団	S49.4.26	教育百年を記念し、市における教育文化の振興を図り、もって市民憲章の精神に則した明るく豊かな市民社会の形成に資することを目的に設立した。	基本財産 58,077千円	0千円	—	当期正味財産増加額 177千円 期末正味財産合計額65,829千円 うち基本財産 58,077千円	—	事務局は、教育委員会教務課職員が担当
		12	財団法人 遠野国際交流協会	H4.3.24	市の恵まれた自然及び豊かな文化を生かし、風土に根ざした特色ある国際交流を推進し、市民の国際理解を深めるとともに、国際協力思想の高揚を図り、物心とともに国際感覚あふれるまちづくりに寄与することを目的に設立した。	基本財産 90,000千円	平成4年寄附 100,000千円	—	当期正味財産増加額 △1,082千円 期末正味財産合計額95,311千円 うち基本財産 90,000千円	—	事務局は、社会教育課職員が担当
		13	遠野市観光協会 (任意団体)	H18.4.1 (旧市 S43.6.1) (旧村 S62.8.1)	地域の観光事業の振興を図り、地方産業、文化、経済、の発展向上に寄与することを目的に設立した。	—	—	—	当期純利益 1,277千円 当期未処分剰余金 11,796千円	【補助金14,950千円】 運営費(人件費含)支援 観光案内所開設 広告宣伝 パンフレット等印刷	市職員派遣 1名(課長級)